

先輩からのメッセージ — 一緒に看護を!! —

Q: 愛全病院を選んだ理由

高校生の時に1日看護体験をした。想像する一般病院とはイメージが離れていて一般の病院はせわしなく時間に追われている印象がありました。ここは看護師さんが落ち着いた雰囲気の中で患者さん一人ひとり丁寧にケアをしていて、私のしたい看護はこういうのかなと思いを選びました。急性期の道もあると思いましたが愛全病院が忘れられなくて選択しました。

Q: 仕事をしていて嬉しかったこと

やはり、できる業務が増えると嬉しいです。処置や患者さんご家族の対応やカンファレンスに参加できること全てが、患者さんにつながり、患者さんのためになることなので、やりがいを感じ嬉しいなと思います。

患者さんのケアで心に残っているのは、「あいちゃんケア事例発表会」でも発表しましたが、褥瘡のある患者さんとの関りです。フットケアを1か月くらい週3回行った結果、褥瘡が良くなり、患者さんにすごく喜んでいただき嬉しかったです。

Q: 大変だったことは

自立までが大変でした。例えば、医師やリハビリスタッフ、患者さん家族さんと今後のことを話し合うカンファレンスで、看護師は患者さんの普段の病棟での様子や状態を伝えていくことが必要です。

そのため、普段から患者さんを見ていないと必要な情報を伝えられず共有ができません。

新人の頃は目の前の処置にいつぱいで視野が狭くて、患者さんの全体像を捉えることが難しかったので、事前に先輩に「こういうことを伝えようと考えていますが足りないところはないですか」と相談し、先輩からアドバイスを受けることで、必要な情報もわかり、カンファレンスに一人で参加できるようになりました。

秋に先輩とカンファレンスに参加し始め、冬には一人で参加できるようになりました。

Q: こんなふう乗り越えた

Q: 大切にしている看護は？

患者さん一人ひとりに向き合っていくことがすごい大事だなと思っています。患者さんの目をみてしっかり患者さんがどういう思いでいるのか汲みとって関わるのが大切だと思っています。

Q: 就職先を考えている方へ

看護学生時代、看護師イコール怖い、厳しいイメージがあり就職するのもいいイメージが持てませんでした。この病院のスタッフはみんな穏やかで優しい方たちで、とても働きやすいです。どういう看護をしているかも大切ですが、働く環境も大切だと思います。愛全病院はすごくいい環境だと思います。



2階2病棟
障害者施設等一般病棟勤務
山根 凜 さん

